学修計画書（「日本学生支援機構貸与奨学金」学修意欲の確認用）

データ作成・手書きいずれも可

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | フリガナ |  | 学籍番号 |
|  |  |
| 学部・学科・学年 | 学部　　　　　　学科　　　　　年 |

|  |
| --- |
| １．学修の目的（将来の展望を含む。）（400 文字程度）　現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。次の（1）から（3）を参考にしつつ、その内容を記述してください。（1） 将来に就きたい職業（業種）があり、その職業（業種）に就くための知識の修得や資格を取得するため。（2） 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。（3） 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。 |
|  |
| ２．学修の計画（400 文字程度）前述の学修の目的の実現のために、今までに何をどのように学び、また、今後、何をどのように学びたいと考えているかを記述してください（新入生の場合は、今後のことについてのみの記載で可）。 |
|  |
| ３．あなたは、卒業まで学修を継続し、全うする意志を持っていますか。次の項目の中から該当するものに☑を記入してください□ ①卒業まで学修を継続し、全うしようとする意志がある。□ ②卒業まで学修を継続し、全うしようとする意志はない。上記①を選択した場合、これからどのような姿勢で学修に取り組もうと考えているか、これまでの姿勢についても振り返りながら記述してください（新入生の場合は、今後のことについてのみの記載で可）。（200～400 文字程度） |
|  |
| ４．授業への出席率　（新入生が春の採用に申込む際は記入不要）今年度履修した授業への出席率について、平均してどれに該当するか☑を記入してください |
| □ ①ほぼすべて出席している□ ②出席率はおおよそ８割超である□ ③出席率はおおよそ６割超である□ ④出席率は６割以下である |  | 左記③④を選択した場合、下欄に出席率が低迷した理由について具体的に記述してください。あわせて、次年度出席率改善のためにどのように取り組むかについても具体的に記述してください。 |
|  |
|  |

* 各欄枠内に収めてください。

（教職員記入欄）

総合判定結果

総合的に考慮して、在学中の学修意欲等が認められるかを判定した結果、

□ 在学中の学修意欲等があると認められる。　　　　□ 在学中の学修意欲等があるとは認められない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |